

# 公共施設の 在り方を 考えよう

みなさんは、長久手市の公共施設と聞いて、どの施設を思い浮かべますか。市役所、中央図書館、小中学校、杵ヶ池体育館、文化の家…。さまざまな施設が思い浮かんだのではないのでしょうか。今ある公共施設が、大きな問題に直面しています。

大切な施設もちろん多くありますが、中にはあまり使われていない施設もあります。

問 財政課 ☎56-0606

長久手市(町)の人口増加\*とともに建設した  
**市内の公共施設は  
3つの問題を抱えています。**

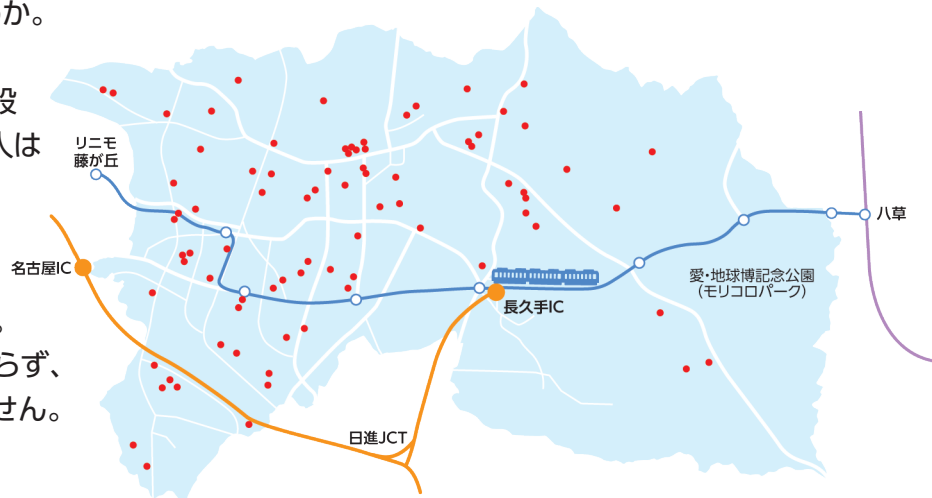
- 1 進む老朽化
- 2 実はあまり使われていない施設がある
- 3 莫大な維持費・管理費

※人口について/1990年 33,714人(国勢調査) ▶▶▶ 2020年3月1日時点 59,495人(P16 総人口)

東西最長約8km、南北最長約4km

**長久手市には、約90もの公共施設があるんです。**

驚いた人も多いのではないのでしょうか。右の地図を見ていただいてもわかるように、本市にはとても多くの公共施設があります。すべて知っているという人はいらっしゃるでしょうか？  
すべて利用したことがあるという人はいらっしゃるでしょうか？  
なかなかいらっしゃらないと思います。しかし、公共施設は利用頻度にかかわらず、維持・管理をしていかなくてはなりません。すべての公共施設の維持・管理には非常に多くのお金がかかります。

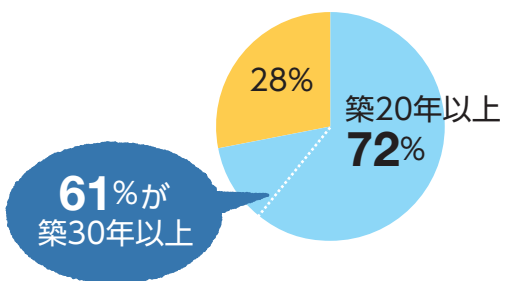


約**1.8倍**

公共施設、  
全て知っていますか？

**72%が築20年以上です。**

本市の公共施設の72%が築20年以上、61%が築30年以上(H31.3.31時点)と老朽化が進んでおり、公共施設の維持更新に必要な費用の増大が懸念されます。



**2050年までに950億円かかる見込みです。**

今から2050年までで本市の公共施設の維持管理や修繕にかかる費用の合計は950億円になる見込みです。年間で30億円。この中には、あまり使われていない公共施設の費用も含まれています。そして、この費用、もちろんみなさんの税金で賄われています。なんだかもったいない気がしてきませんか？

たとえば 文化の家  
約4,000万円/年



たとえば 杵ヶ池体育館  
約910万円/年



**例えば、まとめてみる。**

似たような利用目的の施設、近くにある施設、まとめてみるのはどうでしょうか。建物をまとめることで多くのメリットがあります。

- まとめて建設することで建物コストを削減できます。
- 敷地、建物の省スペース化を図れます。
- 人件費、光熱水費の削減ができます。
- 備品の共有が可能です。
- 使わない部屋を有効活用できます。
- 機能を複合化することでさまざまな人が集まり、利用者間の交流の促進(ごちゃまぜ)、地域コミュニティの醸成、絆が生まれます。

4月1日オープンの長久手北児童館と北小校区共生ステーションはこのコンセプトで建設しました。(関連ページP4~7)

今後は人口減少等により全国的に公共施設の利用需要も変化していくことが予想されます。財源に限りがある中で、市民のニーズに対応した行政サービスの提供を続け、質の向上を実現していくためには、現状の公共施設にかかるコスト情報と施設情報の両面から実態を把握し、課題を抽出したうえで、公共施設のマネジメントを実施していく必要があります。